

公開模試対策 (入試対策) 解説

[67] まず ミカンと柿の値段の平均を出します。

ミカンの個数を③個, 柿の個数を①個とすると、

それぞれの代金は

$$50 \times ③ = ①⑤⑦ \text{円} \dots \text{ミカン}$$

$$100 \times ① = ①⑦⑦ \text{円} \dots \text{柿}$$

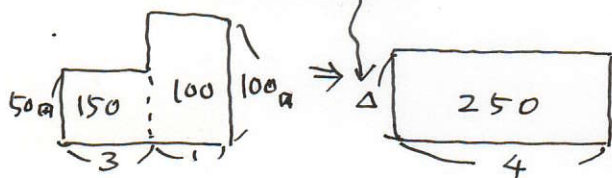
ミカンと柿の代金の合計は

$$150 + 100 = ②⑤⑦$$

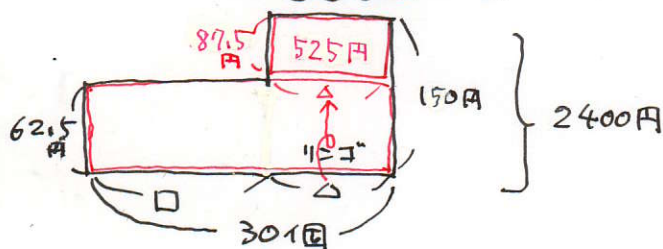
個数の合計は $3 + 1 = ④$ 個で

平均の値段は

$$250 \div 4 = 62.5 \text{ (円)}$$



これとリンゴで 73 の計算です。



30個全部 62.5円とするとその代金は

$$62.5 \times 30 = 1875 \text{ (円)}$$

残りの差は

$$2400 - 1875 = 525 \text{ (円)}$$

1個のおまかせで

$$150 - 62.5 = 87.5 \text{ (円) なので}$$

リンゴの個数は

$$525 \div 87.5 = \underline{6 \text{ (個)}} \text{ となります。}$$

6 個

[68]

全体の個数を1とします。

$$A \text{ さん} \dots \frac{3}{5}$$

$$B \text{ さん} \dots \frac{1}{12} + 10 \text{ 個}$$

$$C \text{ さん} \dots \frac{3}{5} - 27 \text{ 個}$$

割合の合計は

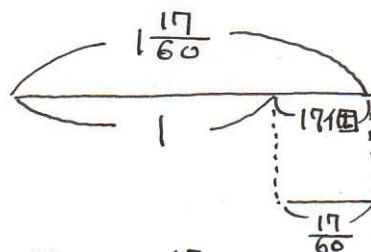
$$\frac{3}{5} + \frac{1}{12} + \frac{3}{5} = 1\frac{17}{60} \dots \text{ (より大きい)}$$

と=3で

+10個とは 10個多い

-27個とは 27個少ない ですから

全体では $27 - 10 = 17 \text{ (個)}$ 少ない。



$$1\frac{17}{60} - 1 = \frac{17}{60}$$

全体の $\frac{17}{60}$ が 17個にあたるので

全体の1は

$$17 \div \frac{17}{60} = \underline{60 \text{ (個)}}$$

Cさんは全体の $\frac{3}{5} - 27$ 個ですから

$$60 \times \frac{3}{5} - 27 = \underline{9 \text{ (個)}}$$

9 個